

令和5年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【その他】

掲載数

7

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 横須賀市	幼複合	その他	さつまいも	7月に学校の畑にさつまいもの苗を植えた。天気の良い日は幼児が水をあげに行き、「おおきなあれ！」と声をかけて育てた。10月にさつまいもを収穫し、11月に焼き芋にして実食した。これらの活動を11月のかしわ祭の劇で行い、さつまいもの栽培から、自分たちが食べるまでのいのちのつながりの過程を幼児は改めて知る機会となった。12月にはおみせやさんごっこで焼き芋屋さんを行った。植物を育てること、食べること、おみせやさんで売ることなどは、生きていく中で必要なことで、今回の活動を通して得た知識をこれからの生活で活かしてほしいと思った。	
2 横須賀市	中1	その他	個別学習 「助けて・手 伝って」が言え るようになる	本生徒は発語が不明瞭であるため、関わりがある人でないと聞き取ることが難しいこともある。もし災害等で周りに知り合いがいないうちに、初めて会った人にも助けを求めることができるよう、発語の明瞭化と同時に手話を学習した。手話を使うことにより、伝えたいことがより受け取り側にもわかりやすくなり、伝えようとする意欲が沸いたように感じた。	
3 湘南三浦	高複合	その他	農作物の収穫	校内の畑で野菜の種まき、苗植え、水やり、草取り等の作業を行いながら作物を育て、市民センター販売会で、販売を行った。	作業学習（各教科等を合わせた指導）で継続的に実施した。
4 神奈川県	年長	その他	火災・地震・津波から身を守る	9月に行われた避難訓練をきっかけに、幼稚部2年生のクラスで避難ごっこをした。避難訓練の前に動画を使って、「あぶない」や「にげる」などの意味や行動の確認をした。子どもたちは実際の訓練で赤色灯が光ったことで、いつもと違う緊張した雰囲気を感じていた。避難行動も真剣に取り組み避難場所まできちんと逃げることができた。その後行った避難ごっこでは教員が「赤色灯」の絵カードを提示し、次に「火事」「地震」「津波」の絵カードのどれかを提示し「火事」ならばハンカチで口鼻を押さえ、「地震」ならば机の下にかくれ、「津波」ならば階段で2階に行くふりをする。子どもたちはどのカードが提示されるか、上手に避難できるかなど楽しんでいた。避難ごっこを続けているうちに子どもたちは自分で考え素早く避難行動できるようになった。	

5	神奈川県	高複合	その他	防災教育「避難訓練」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外で地震に遭遇した時の避難の仕方の訓練を行った。身をかがめる、転倒が予想されるものより離れる等の確認を行った。また、液状化現象の知識を深めることができた。</li> <li>・土砂災害警戒区域内に所在しているため、土砂災害時の避難経路を確認した。自分の命を守るために必要なスキルを確認した。</li> </ul>	
6	神奈川県	高複合	その他	人とのかかわり方、自分の身を守るについて	セクハラなど、いやなことをされていないか、気になることはないか。もしも嫌な思いをした時にどうすればよいか、などを、男女に分けて話をした。	講師：養護教諭、担任
7	神奈川県	高複合	その他	心と体を大切に する週間	意思決定支援につながる取組の一つとして「心と体を大切に する週間」を設定した。各学部児童生徒の実態に合わせ「自分の気持ちを考えよう」「言われてうれしい言葉を集めよう」「命の誕生をテーマにした絵本を、小学部や中学部の児童生徒に読み聞かせする活動」等を行った。自分の気持ちを改めて考えたり、他学部との関わりを持ったりすることができた。	絵本